



第81回国民スポーツ大会
第26回全国障害者スポーツ大会
宮崎県準備委員会



第7回総務企画専門委員会

[議 案]

令和2年1月31日（金）
宮崎観光ホテル東館2階 紅

1 議 事

- (1) 第81回国民スポーツ大会開催準備総合計画改正（案） . . . P 1
- (2) 第81回国民スポーツ大会会場地市町村第6次選定（案） . . . P 4
- (3) 第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会
開催基本構想（原案） . . . 別冊

第 8 1 回国民スポーツ大会開催準備総合計画改正（案）

第 8 1 回国民スポーツ大会開催準備総合計画を次のとおり改正する。

1 改正の理由

第 8 1 回国民スポーツ大会および第 2 6 回全国障害者スポーツ大会の一体的な開催準備を推進するにあたり、両大会共通の開催準備総合計画とするため。

2 改正の内容

(1) 計画名の改称

計画名を次のとおり改称する。

「第 8 1 回国民スポーツ大会・第 2 6 回全国障害者スポーツ大会開催準備総合計画」

(2) 第 2 6 回全国障害者スポーツ大会に係る計画の追加

別紙「第 8 1 回国民スポーツ大会・第 2 6 回全国障害者スポーツ大会開催準備総合計画（案）」網掛け部分のとおり追加する。

3 改正時期

未定（次回常任委員会での審議後、改正予定）

第81回国民スポーツ大会・第26回全国障

①	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	西暦	2017	2018	2019	2020	2021	
	逆年	(開催9年前)	(開催8年前)	(開催7年前)	(開催6年前)	(開催5年前)	
	国体開催県	愛媛県	福井県	茨城県	鹿児島県	三重県	
②	開催手続	開催内々定			県議会開催決議(R3.2)	開催内定	
		開催要望書提出 (平成27年4月17日)			中央競技団体 正規視察	開催申請書提出 (文部科学省・日スポ協)	
③ 県準備委員会(実行委員会)	組織	準備委員会		国スポ・障スポ準備委員会			
		総会					
		常任委員会	広報・県民運動専門委員会	全国障害者スポーツ大会 専門委員会	宿泊・衛生・観光専門委員会	警備・消防・防災専門委員会	
		総務企画専門委員会			輸送・交通専門委員会		
		競技運営専門委員会			式典・会場専門委員会		
		施設整備専門委員会			募金・協賛推進専門委員会		
	必要に応じて各専門委員会内に部会を設置						
	全体計画		開催基本方針等 開催準備総合計画			開催基本構想策定	開催準備総合計画
	総務企画	会場地選定 経費負担	会場地市町村選定基本方針 会場地市町村選定基準	正式競技、特別競技、公開競技、 開・閉会式 会場地市町村選定(数次)		開催会場地の決定	
			県及び会場地市町村の 業務分担・経費負担基本方針	県及び会場地市町村の 業務分担・経費負担細目		デモンストレーションスポーツ会場地市町村選定	
		競技団体及び市町村への意向調査・ヒアリング					
		文化プログラム 行幸啓関係 総合案内					文化プログラム基本方針
	競技運営	競技運営	競技役員等養成基本計画 競技役員等編成基本方針 競技役員等養成基本方針	競技役員等養成事業	公開競技基本方針 デモンストレーション スポーツ実施基本方針		記録業務基本方針 デモンストレーションスポーツ実施競技選定
			競技用具				競技用具整備基本方針
	施設整備	競技・式典 会場 情報通信	競技施設整備基本方針	競技施設基準 競技施設整備調査	競技施設整備計画		
			広報	広報基本方針・基本計画	愛称、スローガン、マスコットキャラクター、 イメージソング等 募集・決定		開催内定イベント
	県民運動	県民運動			県民運動基本方針	県民運動基本計画	
			全国障害者スポーツ大会	競技運営		会場地選定の 進め方	正式競技(会場地選定)
	大会に向けた課題の整理						
	宿泊衛生 観光	宿泊 医事・衛生				宿泊基本方針	宿泊基本計画
					医事・衛生基本方針	医事・衛生基本計画	
輸送交通	輸送・交通				輸送・交通基本方針	輸送・交通基本計画	
式典会場 警備 消防 防災	式典 会場 警備・消防 防災				式典基本方針	式典基本構想	
募金・協賛	募金・協賛				国スポ募金・企業協賛 推進・要項基本方針		
④ 準備 組織等	市町村	市町村担当者会議				会場地市町村国スポ	
	競技団体	競技団体担当者会議	競技運営計画・競技役員等養成計画の作成		競技役員等養成の推進		

障害者スポーツ大会開催準備総合計画（案）

令和4年度 2022 (開催4年前) 栃木県	令和5年度 2023 (開催3年前) 佐賀県	令和6年度 2024 (開催2年前) 滋賀県	令和7年度 2025 (開催1年前) 青森県	令和8年度 2026 (開催年) 宮崎県
	開催決定・会期決定 文部科学省・日スポ協 総合視察		国スポリハーサル大会	障スポリハーサル大会
	実行委員会			
	開催準備総合計画			大会報告書
	文化プログラム実施計画・実施要項・募集			文化プログラムの実施
	警衛基本方針・基本計画	警衛等実施計画、日程等調整		日程最終調整
	総合案内基本方針	総合案内準備の推進		総合案内
			競技役員等編成	総監督会議
リハーサル大会 開催基準要綱	記録関係業務基本計画	記録関係業務運営要綱		記録本部
	競技日程決定		リハーサル大会実施本部	総合・競技別 プログラム
競技用具整備計画		競技用具整備の推進		
	県・市町村の競技施設及び式典会場整備の推進			
情報通信基本方針	情報通信基本計画	情報通信システムの調整		情報通信本部
広報活動の推進（ホームページ、広報誌、ポスター、懸垂幕、横断幕、記録映像等）				
	開催決定イベント		開催1年前イベント	全国報道者会議
				報道本部
県民運動の指針（各種媒体の作成及び配布、花いっぱい運動等の実施団体の支援など）				
		ボランティアの募集・養成		
オープン競技（会場地選定）		競技用具整備		大会実施本部
		競技役員等の養成・ボランティア募集・養成等		
			宿泊要項	宿泊本部
宿泊準備の推進（総合配宿計画、広域配宿及び民泊基本計画等）				
	標準献立作成基本方針	標準献立普及実施要領	標準献立普及講習	
医事・衛生対策各種要項	医療救護要項	医事・衛生準備の推進（食品衛生、環境衛生、馬事衛生、防疫対策等）		救護本部・救護所 馬事衛生対策本部
輸送・交通業務指針	全国輸送基礎調査	開・閉会式輸送実施計画		輸送本部
	全国輸送計画・会場輸送調整	交通規制計画		
式典基本計画	式典準備の推進（式典演技、式典音楽、炬火リレー、リハーサル等）			式典本部
	会場管理基本方針	会場管理基本計画	会場管理体制の整備	
				警備本部
警備・消防・防災準備の推進（関係機関との協力体制構築、業務指針、マニュアル等の作成など）				消防・防災本部
国スポ募金・企業協賛活動の推進				
準備委員会（随時設置）	会場地市町村国スポ実行委員会			市町村競技会実施本部

リハーサル大会（国スポ）

リハーサル大会（障スポ）

第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会

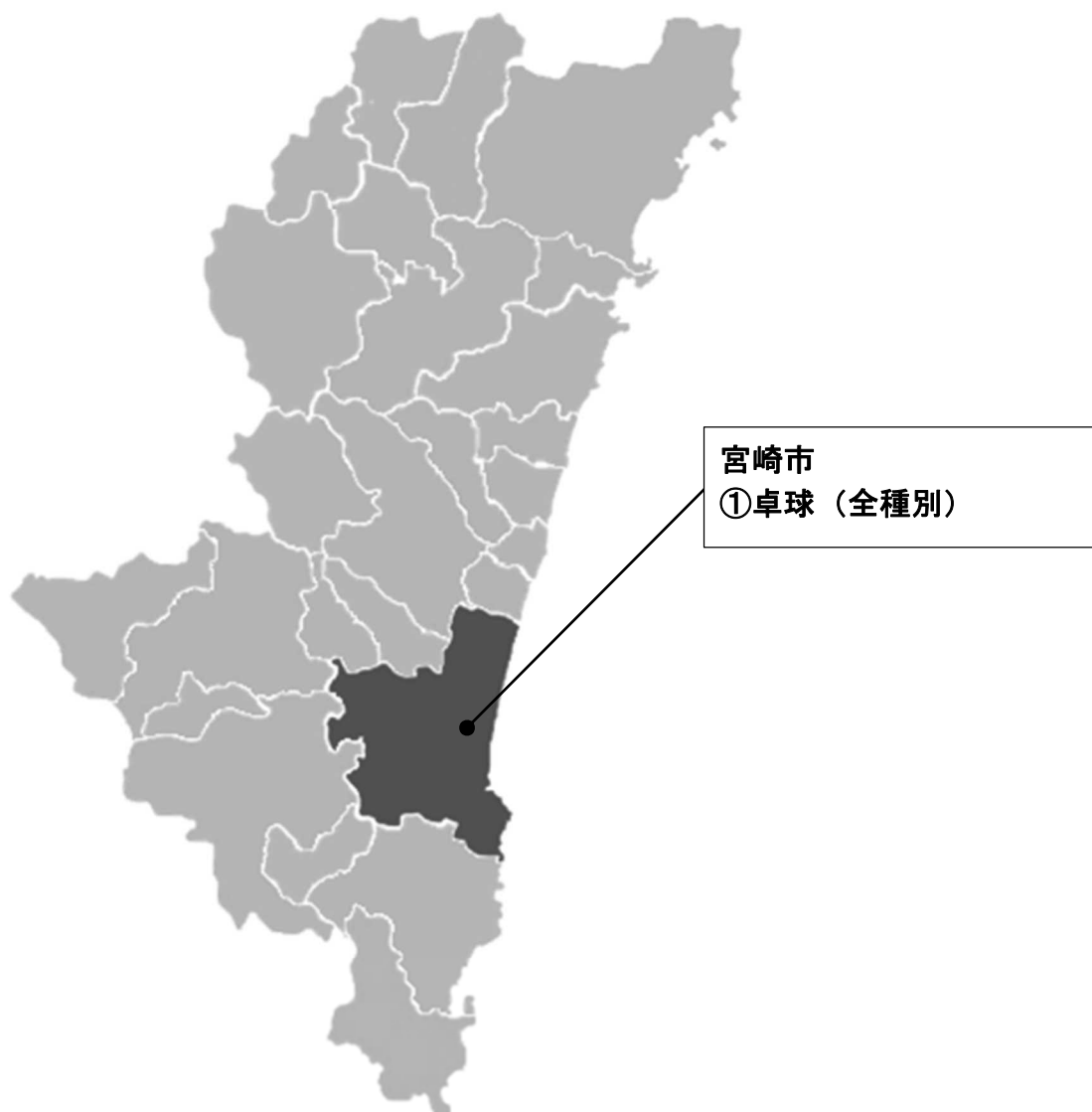
第81回国民スポーツ大会会場地市町村第6次選定（案）

第81回国民スポーツ大会開催基本方針、会場地選定基本方針、会場地選定基準及び会場地
市町村選定の進め方に基づき、市町村と競技団体の開催希望が合致したものを第6次選定（案）
とする。

番号	競技（種目）	種別	市町村	開催予定施設
1	卓球	全種別	宮崎市	宮崎市総合体育館

注) 開催予定施設は、現時点で競技を開催できる能力を有する施設として判断したものであり、今後、中央競技団体視察の結果等により、会場の追加・変更等が生じる場合がある。

(参考) 会場地市町村第6次選定(案)配置図



1 第6次選定(案)

- (1) 会場地市町村数 … 1市／26市町村
- (2) 競技数 … 1競技1種目4種別

2 選定状況

- (1) 会場地市町村数 … 9市13町／26市町村
- (2) 競技数 … 36競技41種目118種別／38競技55種目162種別

3 第7次選定以降の進め方

8競技16種目44種別については、これまでの調査やヒアリングの結果を踏まえ市町村及び競技団体と次の選定に向けて引き続き協議、調整を行う。

※ 水泳、体操、バスケットボール、自転車、ソフトボール、ライフル射撃の6競技については、第1次決定から第6次選定(案)以外の種目・種別の協議、調整を行う。

第 8 1 回国民スポーツ大会会場地市町村選定状況一覧

①= 第 1 次選定	8 競技 9 種目 2 0 種別
②= 第 2 次選定	1 0 競技 1 0 種目 2 8 種別
③= 第 3 次選定	7 競技 7 種目 1 9 種別
④= 第 4 次選定	1 1 競技 1 3 種目 3 0 種別
⑤= 第 5 次選定 (案)	6 競技 7 種目 1 8 種別
⑥= 第 6 次選定 (案)	1 競技 1 種目 4 種別
合 計	3 6 競技 4 1 種目 1 1 8 種別を選定 / 3 8 競技 5 5 種目 1 6 2 種別

【正式競技】

番号	競技(種目)	種 別	市町村	開催予定施設	選定	
1	陸上競技	全種別				
2	水泳	競泳				
		飛込				
		水球				
		アーティスティックスイミング	少年女子			
		オープンウォータースイミング	全種別	延岡市	(仮称) 下阿蘇ビーチ特設会場	⑤
3	サッカー	成年男子	綾町	綾国際交流広場サッカー場 綾町自然休養村公園小田爪多目的競技場	②	
		少年女子	西都市	清水台総合公園多目的広場	①	
		少年男子	新富町	(仮称) 新富町フットボールセンター	④	
4	テニス	全種別	宮崎市	宮崎県総合運動公園庭球場	④	
5	ボート	全種別	新富町	富田浜漕艇場	③	
6	ホッケー	全種別	都農町	都農町藤見公園	⑤	
7	ボクシング	全種別	えびの市	えびの市民体育館	④	
8	バレーボール	6人制	成年男子	日南市	日南市北郷体育館	②
			成年女子	延岡市	(仮称) 新宮崎県体育館	④
			少年男子	都城市	早水公園体育文化センター	②
			少年女子	小林市	小林市市民体育館	②
		ビーチバレーボール	全種別	日向市	(仮称) お倉ヶ浜海岸特設会場	③
9	体操	競技				
		新体操	少年女子			
		トランポリン	全種別	小林市	小林市市民体育館	④
10	バスケットボール	成年男子		早水公園体育文化センター	④	
		成年女子	都城市	早水公園体育文化センター 高城運動公園総合体育館 高崎総合公園総合体育館	④	
		少年男子				
		少年女子				
11	レスリング	全種別	日南市	日南総合運動公園多目的体育館	②	
12	セーリング	全種別	日南市	日南市大堂津ヨット競技場	①	
13	ウエイトリフティング	全種別	小林市	小林市文化会館	③	
14	ハンドボール	成年男女	綾町	綾てるはドーム	②	
		少年男女	宮崎市	宮崎市佐土原体育館 宮崎市天ヶ城公園体育館 宮崎市清武体育館	④	
15	自転車	トラック	宮崎市	宮崎県総合運動公園自転車競技場	④	
		ロード				
16	ソフトテニス	成年男女	都城市	(仮称) 都城運動公園庭球場	②	
		少年男女	宮崎市	生目の杜運動公園テニスコート	②	
17	卓球	全種別	宮崎市	宮崎市総合体育館	⑥	

番号	競技(種目)	種別	市町村	開催予定施設		
18	軟式野球	成年男子	延岡市	西階野球場	②	
		成年男子	日向市	お倉ヶ浜総合公園野球場	②	
		成年男子	高鍋町	高鍋総合運動公園MASUDAスタジアム	②	
		成年男子	川南町	川南町運動公園野球場	②	
		成年男子	門川町	門川海浜総合公園野球場	②	
		成年男子	西都市	西都原運動公園野球場	③	
19	相撲	全種別	五ヶ瀬町	五ヶ瀬町総合公園Gパーク五ヶ瀬ドーム	③	
20	馬術	全種別	綾町	綾馬事公苑	①	
21	フェンシング	全種別	国富町	アリーナくにとみ	①	
22	柔道	全種別	延岡市	(仮称)新宮崎県体育館	⑤	
23	ソフトボール	成年男子	延岡市	西階野球場	⑤	
			門川町	門川海浜総合公園野球場	⑤	
		成年女子				
		少年男子 少年女子	日向市	お倉ヶ浜総合公園広場 お倉ヶ浜総合公園野球場	① ①	
24	バドミントン	全種別	高鍋町	井上商店スポーツセンター高鍋町総合体育館	②	
25	弓道	近的	串間市	串間市弓弓道場	④	
		遠的		(仮称)串間市総合運動公園特設競技場	④	
26	ライフル射撃	50m				
		10m・AP				
		BR・BP				
		CFP	成年男子	宮崎市	宮崎県警察学校射撃場	④
27	剣道	全種別	高千穂町	高千穂町武道館	②	
28	ラグビーフットボール	7人制	成年男子	宮崎市	宮崎県総合運動公園ラグビー場 宮崎県総合運動公園第3競技場	④
			女子			④
		15人制	少年男子			④
29	スポーツクライミング	リード	木城町	(仮称)木城町体育館特設会場	⑤	
		ボルダリング		木城町体育館	⑤	
30	カヌー	スプリント				
		スラローム				
		ワイルドウォーター				
31	アーチェリー	全種別	高原町	高原町総合運動公園多目的芝生広場	②	
32	空手道	全種別	宮崎市	宮崎県武道館	⑤	
33	銃剣道	全種別	三股町	三股町武道体育館	①	
34	なぎなた	全種別	日之影町	日之影町立日之影中学校体育館	①	
35	ボウリング	全種別	宮崎市	宮崎エースレーン	③	
36	ゴルフ	成年男子	宮崎市	宮崎レイクサイドゴルフ倶楽部	③	
		女子		宮崎カントリークラブ	③	
		少年男子		ハイビスカスゴルフクラブ	③	
37	トライアスロン	全種別	川南町	(仮称)川南漁港特設トライアスロン会場	②	

【特別競技】

番号	競技	種別	会場地	競技会場	選定
1	高等学校野球	硬式	日南市	天福公園野球場 日南総合運動公園野球場	①
		軟式		南郷中央公園野球場	①

資料別冊

議案第3号

第81回国民スポーツ大会・
第26回全国障害者スポーツ大会
開催基本構想
(原案)



令和 年 月

第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会

宮崎県準備委員会

目 次

第1章	第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会 開催基本構想について	1
第2章	第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会について	
1	国民スポーツ大会とは	2
2	全国障害者スポーツ大会とは	3
3	国民スポーツ大会と全国障害者スポーツ大会のあゆみ	4
4	宮崎県における大会開催の意義	5
第3章	第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会 開催基本方針	6
第4章	「実施目標」の具体的な取組	
1	「チームみやざき」で創りあげる大会	7
2	スポーツの素晴らしさを体感できる大会	8
3	宮崎県の魅力を全国に発信する大会	9
4	「未来のみやざき」づくりを進める大会	10
5	共に支え合う社会づくりを進める大会	11
第5章	宮崎県での大会開催を契機としたスポーツを活用した県づくりの展開	
		12

第1章 第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会開催基本構想 について

国民スポーツ大会は、昭和21年（1946年）の第1回大会以来、国民体育大会の名称で、国内最大のスポーツの祭典として広く親しまれ、国民の健康増進と体力向上、地方スポーツの推進と地方文化の発展等に寄与してきました。

宮崎県では、昭和54年（1979年）に「伸びる心 伸びる力 伸びる郷土」をスローガンとして、第34回「日本のふるさと宮崎国体」を開催し、本県選手団の活躍や県民総参加で大会を支えた誇りと自信は、明るく豊かな宮崎を築く原動力となり、本県のスポーツ振興はもとより、その後の県勢発展に大きく貢献しました。

また、同年には、「ふれあう心 あふれる力 のびゆく郷土」をスローガンに、第15回全国身体障害者スポーツ大会を開催し、障がいのある方が力強く競技する姿が多くの県民に大きな感動を与えました。

そして、前回開催から47年ぶりとなる令和8年（2026年）に、第81回国民スポーツ大会と第26回全国障害者スポーツ大会（前身の「全国身体障害者スポーツ大会」を含めて）を、宮崎県で開催します。

この開催基本構想は、平成29年（2017年）10月に設立した第81回国民体育大会宮崎県準備委員会の総会で決定した、「第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会開催基本方針」に基づき、大会の開催及び開催準備の指針となる実施目標とその実現に向けた方向性を明らかにするものです。

第2章 国民スポーツ大会と全国障害者スポーツ大会について



1 国民スポーツ大会とは

国民スポーツ大会（国スポ）は、広く国民の間にスポーツを普及し、スポーツの精神を高揚して、国民の健康増進と体力の向上を図り、併せて地方スポーツの推進と地方文化の発展に寄与することを目的として、毎年開催されている国内最大の国民スポーツの祭典です。

「冬季大会」と「本大会」の競技得点の合計を競う都道府県対抗方式で開催され、天皇杯（男女総合成績1位）・皇后杯（女子総合成績1位）の獲得を目指し、都道府県代表の選手が各競技で熱い戦いを繰り広げます。

本県では、競技得点の対象となる「正式競技」のほか、「特別競技」、「公開競技」、「デモンストレーションスポーツ」を実施することになります。

第81回国民スポーツ大会（本大会）における実施予定競技

区 分	競 技 名
正式競技 (37競技)	陸上競技、水泳、サッカー、テニス、ボート、ホッケー、バレーボール、体操、バスケットボール、レスリング、セーリング、ウエイトリフティング、ハンドボール、自転車、ソフトテニス、卓球、軟式野球、相撲、馬術、フェンシング、柔道、ソフトボール、バドミントン、弓道、ライフル射撃、剣道、ラグビーフットボール、スポーツクライミング、カヌー、アーチェリー、空手道、銃剣道、なぎなた、ボウリング、ゴルフ、トライアスロン、ボクシング
特別競技（1競技）	高等学校野球
公開競技（7競技）	綱引、ゲートボール、武術太極拳、パワーリフティング、グラウンド・ゴルフ、バウンドテニス、エアロビック
デモンストレーション スポーツ	地方スポーツの推進、国民の健康増進・体力の向上等をはじめ、国民のスポーツ推進を図るため、県内に居住している者を対象として実施する競技



2 全国障害者スポーツ大会とは

全国障害者スポーツ大会（障スポ）は、障がいのある人が競技等を通じてスポーツの楽しさを体験するとともに、国民の障がいに対する理解を深め、障がい者の社会参加の推進に寄与することを目的として毎年開催される障がい者スポーツの全国的な祭典です。

昭和40年（1965年）から身体に障がいのある人々を対象に行われてきた「全国身体障害者スポーツ大会」と平成4年（1992年）から知的に障がいがある人々を対象に行われてきた「全国知的障害者スポーツ大会」を統合した大会として、平成13年（2001年）から国体終了後に、国体と同じ開催地で開催されている大会です。

本県では、「正式競技」のほか、「オープン競技」を実施することになります。

第26回全国障害者スポーツ大会における実施予定競技

区 分		競 技 名
正式競技 (14競技)	個人競技（7競技）	陸上競技（身体・知的） 水泳（身体・知的） アーチェリー（身体） 卓球（身体・知的・精神） フライングディスク（身体・知的） ボウリング（知的） ボッチャ（身体）
	団体競技（7競技）	バスケットボール（知的） 車いすバスケットボール（身体） ソフトボール（知的） グランドソフトボール（身体） バレーボール（身体・知的・精神） サッカー（知的） フットベースボール（知的）
オープン競技	広く障がい者の間にスポーツを普及する観点から有効と認められるものについては、あらかじめ主催者間で協議し実施することができる	

3 国民スポーツ大会と全国障害者スポーツ大会のあゆみ

国民スポーツ大会は、戦後の混乱期の中で国民に希望と勇気を与えるため、国民体育大会の名称で、昭和21年（1946年）に、京都府を中心とした京阪神地域で第1回大会が開催されて以来、毎年、各都道府県の持ち回りで開催されています。

昭和23年（1948年）の第3回福岡県大会から都道府県対抗方式が確立し、天皇杯と皇后杯が創設されました。昭和63年（1988年）の第43回京都府大会から2巡目に入り、全国を東地区（北海道・東北・関東）、中地区（北信越・東海・近畿）、西地区（中国・四国・九州）の3つに分けて輪番制で開催されています。

当初は、冬季、夏季、秋季の3会期で実施されていた国体は、平成18年（2006年）の第61回兵庫県大会から夏季大会と秋季大会が統合され、以降は冬季大会と本大会の2会期として開催されています。

スポーツ基本法の一部を改正する法律（平成30年7月20日公布）により、国民体育大会は、令和5年（2023年）の第78回佐賀県大会から、国民スポーツ大会に改称されます。

全国障害者スポーツ大会は、昭和40年（1965年）から身体に障がいのある人々を対象に行われてきた「全国身体障害者スポーツ大会」と平成4年（1992年）から知的に障がいのある人々を対象に行われてきた「全国知的障害者スポーツ大会」を統合した大会として、平成13年（2001年）の第56回宮城県大会から国体終了後に、国体と同じ開催地で開催されています。



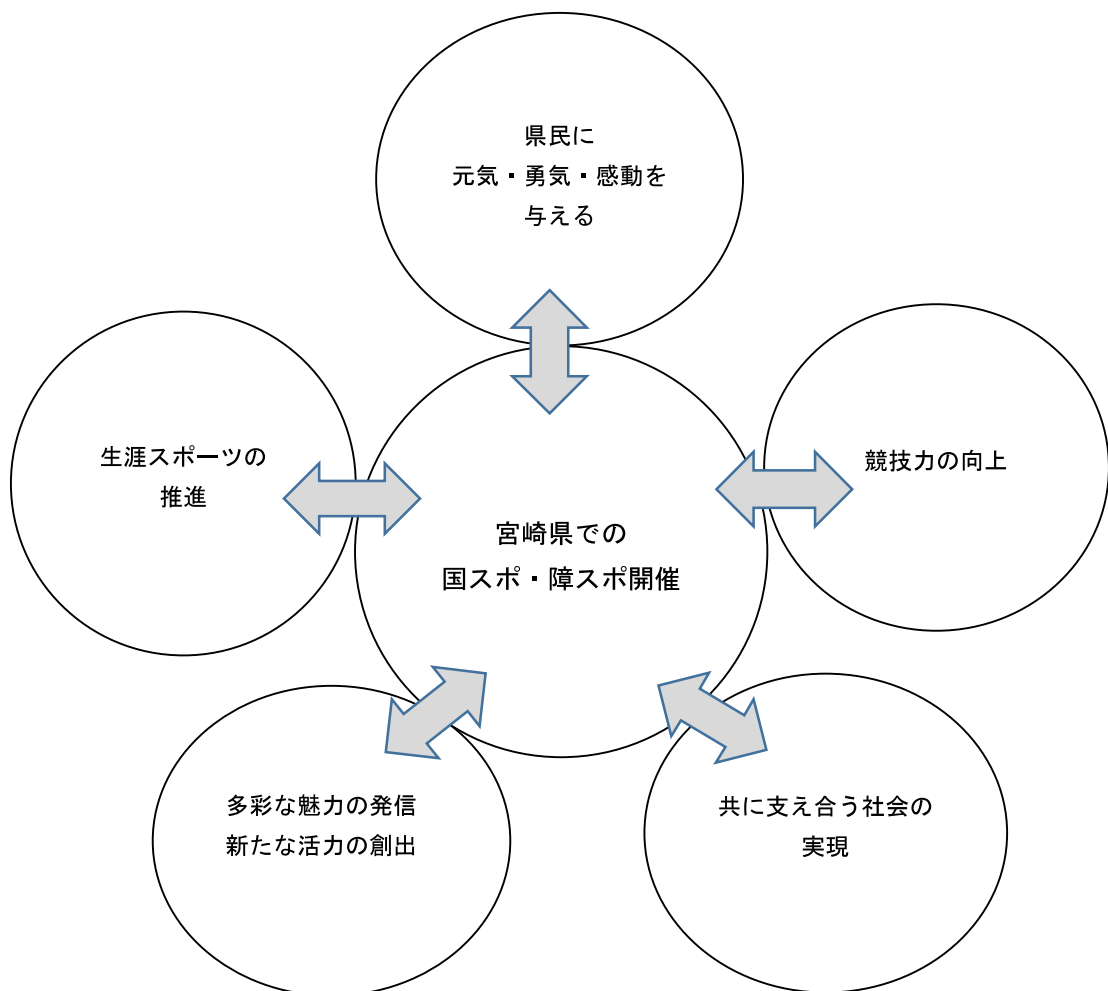
4 宮崎県における大会開催の意義

国民スポーツ大会は、国内トップレベルの選手が参加する、国内最大のスポーツの祭典です。また、全国障害者スポーツ大会は、障がいのある選手が全国から集う、障がい者スポーツの全国的な祭典です。

宮崎県で両大会を開催することは、次代を担う子どもたちをはじめ県民に元気・勇気・感動を与えると同時に、トップアスリートの育成や競技力の向上はもちろんのこと、生涯スポーツの推進にもつながります。

また、両大会を通じて、障がい者に対する理解や交流の機会が生まれ、人々が共に支え合う社会の実現につながります。

さらには、両大会には、県内外から多くの人々が訪れることから、開・閉会式や県内各地で開催される各競技会や関連行事・イベント等でのおもてなしを通じて、人々の交流の輪が広がるとともに、宮崎県の多彩な魅力の発信や新たな活力の創出につながることを期待されます。



第3章 第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会開催基本方針

1 基本方針

宮崎県は、温暖な気候や恵まれた自然、快適なスポーツ環境を生かしたスポーツチームのキャンプや合宿を通して、多くの選手や観光客が訪れるなど、スポーツが地域振興の大きな柱となっています。

第81回国民スポーツ大会及び第26回全国障害者スポーツ大会は、「スポーツの持つ力と可能性」により、広く県民に元気・勇気・感動を与え、県民総参加型による“おもてなしの心”あふれる大会を目指します。

この大会の開催を契機として、競技力の向上や地域スポーツの普及・振興を図り、県民の健康増進や生きがいづくりに取り組むとともに、障がい者に対する理解を深め、障がい者の社会参加を進めます。

また、本県の多彩な魅力を全国に向けて発信するとともに「スポーツランドみやざき」の全県展開など、スポーツを生かした「未来のみやざき」づくりを推進します。

2 実施目標

(1) 「チームみやざき」で創りあげる大会

スポーツを「する」、「みる」、「支える」など、県民がそれぞれの立場で大会に関わり、競技会はもちろん、県民運動や文化プログラム等により、大会の開催機運を盛り上げる県民総参加型の大会を目指します。

(2) スポーツの素晴らしさを体感できる大会

指導者の養成やアスリートの育成など、計画的かつ継続的な競技力の向上を図るとともに、県民一人ひとりがスポーツを通じた健康増進や生きがいづくりに取り組み、スポーツの喜びや楽しさを享受できる大会を目指します。

(3) 宮崎県の魅力を全国に発信する大会

神話や伝統文化、豊かな自然や食に加え、充実したスポーツ環境など、本県の多彩な魅力を全国に向けて発信します。

また、来県する皆様を“おもてなしの心”で温かく迎え、県民とのふれあいや感動の共有による心の絆を深める大会とします。

(4) 「未来のみやざき」づくりを進める大会

大会の開催を契機として、スポーツの拠点づくりや地域活性化、スポーツ文化の醸成、さらには「スポーツランドみやざき」の全県展開などに取り組み、スポーツを生かした「未来のみやざき」づくりを推進します。

(5) 共に支え合う社会づくりを進める大会

スポーツを通じた交流の拡大や障がい者が主体的にスポーツに取り組む環境の整備を図ることで、障がいに対する理解を深め、障がい者の社会参加を推進するとともに、誰もが互いに尊重し、支え合って生きる社会づくりに貢献する大会とします。

第4章 「実施目標」の具体的な取組

1 「チームみやぎ」で創りあげる大会

(1) 県民運動の推進

- 県民に対し様々な機会を通じて、各種の広報媒体を活用した広報活動を行うことにより、開催機運の醸成を進め、すべての県民が様々な形で自発的、積極的に大会に参加・協力する、“おもてなしの心”あふれる県民運動を展開します。

(2) ボランティア活動等の推進

- 総合開・閉会式や各競技会、総合案内所等で活躍するボランティアを養成し、ボランティア活動への参加を推進します。
- 競技会を円滑に運営するため、会場地市町村や各競技団体等と連携し、競技役員等の計画的な養成を図ります。

(3) 県内各地での競技会の開催

- 全県的な開催機運の醸成を図るため、また、多くの県民が多様なスポーツに親しむ機会となるよう、可能な限り県内各地で競技会を開催します。



2 スポーツの素晴らしさを体感できる大会

(1) 競技力の向上

- 関係機関・団体等、官民一体で構成する県競技力向上対策本部による競技力向上の推進体制の整備・充実を図ります。
- ジュニア期からの選手の発掘、未普及競技の育成・強化、有望選手の確保等の取組を推進し、全国大会や国際大会等で活躍できる選手の育成・強化に取り組みます。
- 成年選手、女子選手の活動を支援する体制の整備・充実に努めます。
- スポーツ医・科学的な面から選手をサポートするほか、練習施設・用具の整備などの取組を推進し、練習環境の整備・充実に努めます。

(2) スポーツを支える人材の育成

- 指導者の養成・資質の向上や一貫指導体制の確立など、計画的・効果的な指導体制の充実・強化等に取り組みます。

(3) 健康増進や生きがいつくりの推進

- 両大会を契機に、県民一人ひとりのライフステージに応じたスポーツの習慣化に努め、県民の健康増進や生きがいつくりを推進します。
- 豊かで充実した人生100年時代を迎える中で、生涯を通じて、いつでも、どこでも、誰でもスポーツに親しむことができる環境づくりに努めます。



3 宮崎県の魅力を全国に発信する大会

(1) 宮崎県の多彩な魅力の発信

- 宮崎県の豊かな自然や食、恵まれたスポーツ環境、神話や伝統文化などの多彩な魅力を、観光関連団体等と連携しながら、県民一人ひとりの“おもてなしの心”や各種の広報媒体を活用した広報活動等を通して全国へ発信します。
- 競技会会場地となる市町村をはじめ、周辺市町村へも来県者等が訪れるよう市町村等と連携し、地域の魅力発信に取り組みます。

(2) 来県者等へのおもてなしの推進

- 県内の駅や空港等に、大会や観光等の様々な情報が入手できる総合案内所を設置し、県内外の方々を“おもてなしの心”で迎えます。
- 地域住民と参加選手をはじめとする、来場者との交流の場が生まれるような取組を目指します。

(3) 大会文化プログラムの展開

- 宮崎県ならではの文化・芸術に係る展示会や音楽会、郷土の祭り、伝統芸能等に係る事業など、競技観戦以外にも楽しめる「大会文化プログラム」を展開します。



4 「未来のみやざき」づくりを進める大会

(1) 「スポーツランドみやざき」の拠点づくりの推進

- 両大会の開催を契機に、県内各地に定着した競技や本県の温暖な気候や優れたスポーツ施設を生かした、スポーツの拠点づくりを目指します。

(2) スポーツを生かした地域の振興

- 各地で開催された競技会等がそれぞれの地域に定着することで、地域のスポーツ振興を通じた、活力と魅力に満ちた地域づくりを目指します。



5 共に支え合う社会づくりを進める大会

(1) 国民スポーツ大会と全国障害者スポーツ大会の一体的な開催

- 両大会共通の基本方針・計画等を策定し、国スポ・障スポの開催準備を一体的に進めていきます。
- 両大会における広報や関連イベント等を一体的に行うことにより、障がいに関する理解促進や交流の場を創出します。
- 障がいのあるなしにかかわらず、互いが交流し尊重し合えるような大会運営を目指します。

(2) 障がい者スポーツの振興

- 障がいのある方々を対象とした競技会を開催し、スポーツを通して豊かな生活の実現や競技力の向上を図ります。
- 指導者や審判の養成・確保に取り組むことにより、より多くの障がいのある方々がスポーツに親しむことができる環境づくりを推進します。
- 障スポ開催を契機として、障がいのある方々に対して、健康増進や交流等、スポーツの魅力を発信します。

(3) バリアフリー等に配慮した大会運営

- バリアフリーに配慮し、誰もが利用しやすい会場づくりに取り組みます。
- 手話や点字による案内など情報保障に関する環境を整備し、選手や役員、観客等に分かりやすい情報提供を行います。



第5章 宮崎県での大会開催を契機としたスポーツを活用した県づくりの展開

第81回国民スポーツ大会と第26回全国障害者スポーツ大会への取組を通して、県内スポーツの推進や地域振興を図るなど、スポーツを生かした「未来のみやざき」づくりを推進します。

1 県内におけるスポーツの推進

本県の温暖な気候や優れたスポーツ施設等を生かし、スポーツの拠点づくりを進めるとともに、競技力向上に向けた取組等により、県内の競技スポーツの推進を図ります。

2 競技会や合宿誘致等による地域振興

国内外のトップアスリート等のスポーツキャンプ・合宿の誘致・受入や国際スポーツイベントの開催など、「スポーツランドみやざき」の更なる向上に取り組むとともに、スポーツによる誘客や観光など全県的な地域振興につなげます。

3 誰もが楽しめるスポーツ環境の充実と県民の健康づくり

両大会への取組を通して、県民のスポーツに親しむ機運醸成やスポーツ環境の充実等により、県民の健康づくりや生きがいをづくりに取り組みます。





第81回国民スポーツ大会
第26回全国障害者スポーツ大会
宮崎県準備委員会



第7回総務企画専門委員会

[その他]

令和2年1月31日（金）
宮崎観光ホテル東館2階 紅

1 その他

- (1) 第81回国民スポーツ大会中央競技団体正規視察について . . . P 1
- (2) 第81回国民スポーツ大会デモンストレーションスポーツ
会場地市町村選定の進め方について . . . P 2
- (3) 全国障害者スポーツ大会の競技について . . . 資料映像

第81回国民スポーツ大会中央競技団体正規視察について（概要）

1 視察の趣旨

この視察は、宮崎県が公益財団法人日本スポーツ協会（以下「J S P O」という。）から、開催地として内定を受けるため、国民スポーツ大会の正式競技及び特別競技について、中央競技団体により競技会場施設の整備状況・整備計画、競技運営計画、宿泊・輸送計画等の現地視察を受け、今後の開催準備の適切かつ円滑な推進を図ることを目的とする。

2 視察時期

原則として令和2年8月から令和3年3月まで

※会場地未定競技については、会場地選定後に随時実施するものとする。

3 主な視察内容

- (1) 競技会場・練習会場施設の整備状況、整備計画、利用計画等について
- (2) 競技運営計画及び審判員等養成計画について
- (3) 宿泊・輸送計画、その他開催準備計画等について

4 主なスケジュール（案）：視察関係

年 度	内 容
令和元年 (開催7年前)	市町村及び競技団体担当者合同会議において概要を説明（12月） ○中央競技団体正規視察の説明及び先催県の資料等の提供 [会場地市町村]・・・競技会場施設、宿泊・輸送体制等の整備・検討 [県競技団体]・・・競技運営計画・審判員等養成計画等の検討 [県準備委員会]・・・J S P O・会場地市町村・県競技団体との連絡調整
令和2年 (開催6年前)	中央競技団体正規視察（競技ごとに順次実施）（8月～） ※ 順次視察報告書のとりまとめ
令和3年 (開催5年前)	開催申請書提出（6月） ※ 県が県体協会長、県知事及び教育長と連署の上、日本スポーツ協会 会長及び文部科学大臣宛に提出 開 催 内 定（7月）
令和4年 (開催4年前)	総合視察に向けての準備
令和5年 (開催3年前)	文部科学省・J S P O総合視察 開催決定・会期決定
令和6年 (開催2年前)	リハーサル大会に向けての準備
令和7年 (開催1年前)	競技別リハーサル大会
令和8年 (開催年)	第81回国民スポーツ大会

第 8 1 回国民スポーツ大会デモンストレーションスポーツ 会場地市町村選定の進め方について

1 市町村・関係競技団体へ開催意向調査の実施

市町村及び関係競技団体に、開催に向けての意向調査を実施する。

2 市町村・関係競技団体へ募集開始（令和 2 年 5 月開始予定）

(1) 市町村及び競技団体担当者会議において説明し、令和 2 年度より募集を開始する。

(2) 市町村及び関係競技団体は協議・合意の上、市町村が県準備委員会に申請する。

※ 公益財団法人宮崎県体育協会（以下「県体協」という。）非加盟団体の場合は、県準備委員会が県体協へ推薦依頼を行う。

(3) デモンストレーションスポーツ実施基本方針に基づき、必要に応じてヒアリングを実施するなど、総合的に検討して選定する。

3 会場地市町村選定（案）及び実施競技選択（案）の審議及び決定

(1) 競技運営専門委員会 ～ 実施競技選択（案）の審議

(2) 総務企画専門委員会 ～ 会場地市町村選定（案）の審議

(3) 常 任 委 員 会 ～ 会場地市町村選定（案）と実施競技選択（案）の審議・決定

4 フロー図

